

計画第3期 小中一貫教育とCSの充実へ

小中一貫・CS 通信

NO. 40 R4. 7. 25 幕別町教育委員会 学校教育推進員

比較的落ち着いていた先月とは打って変わって、感染拡大が急激に進んできました。幼児から20歳未満の若い方々の感染が増え、全国的には過去最高を更新する事態になっています。十勝でも週合計が3倍になる(7/16時点)など急拡大となっています。行動制限は必要なしの方針ですので、これまでの感染防止対策を粛々と継続していくことになります。幸い1学期を無事終えることができましたので、まずは1学期お疲れさまとお互いをねぎらい合い、夏季休業中に状況が落ち着くことを期待して、今は鋭気を養うことにしましょう。

今月は、取組みが目白押しでページを増やしてお届けになります。

第1回小中一貫教育・CS推進連絡会議開催 7/11

7月11日(月)、第1回幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議が教育委員会と学園会場の5つをオンラインで結び開催されました。初めに、菅野勇次教育長から、各学園の優れた実践を学び合い、小中一貫教育とCSをさらに進めていこうと挨拶がありました。続いて、役員選出が行われ、会長に橋本靖宏まくべつ学園長、副会長に白井将之ちゅうるい学園長が互選で選ばれました。その後、橋本靖宏新会長の進行により、実践発表と質疑応答が行われました。



まくべつ学園の発表では、昨年に引き続き、乗入授業のことがさらに詳しく報告されました。導入の際の手順や行って分かった有効な工夫ポイントなど、貴重な経験が丁寧に伝えられました。持続可能な取組みになるよう、無理なくできる工夫を考えていることが分かりました。コーディネータが小中一貫教育の成果を実感していることが強く伝わってくる発表でした。

糠内学園の発表では、3校の総合的な学習の時間のカリキュラムから共通項を拾い出し、1本の柱を立てて小中一貫の地域学習の教育課程を作り上げたことが報告されました。小学校段階では、糠内地域の中心産業である農業に、体験的に触れることによって地域を学び、中学校段階ではそれを地域づくり、まちづくりへと発展させる畑☆酪プロジェクトです。CSの取組みも進んできており、運営協議会委員の発案による奄美大島の小中学校とのオンライン交流が実現しその様子も紹介されました。地域に根差した小中一貫教育がCSとともに、また一歩歩みを進めました。そのことがよくわかる発表でした。

質疑応答では、まくべつ学園には、打ち合わせ時間、中学校のメリットと負担等について質問が出され、Googleclassroomの活用で気軽に打ち合わせや情報共有ができていないこと、入学前から子どものことを理解できるメリット、負担よりも成果を実感していることなどが回答されました。糠内学園には、地域と子どもとの関わり、小中の交流場面、奄美大島との交流について質問があり、保護者・祖父母などの親密な交流の様子、総合的な学習の時間の発表会の相互参観の様子などが紹介され、奄美大島との交流の経緯も説明されました。

今回の発表は、今年度の重点として示された、小中一貫教育課程の作成、その具体化としての乗入授業についての発表であり、大いに参考になるものでした。この発表から多くを学んでほかの学園でも取組みが進むことを期待します。

新冠町教育委員会教育行政視察団来園

まくべつ学園 7/4

7月4日(月)、新冠町教育委員会の教育行政視察団がまくべつ学園を訪問しました。新冠町では、現在2つある小学校を1校に統合し、令和6年度から一小一中体制になることが決まっています。現在も小中一貫教育に取り組んでいるようですが、一小一中で本格的な小中一貫校に発展させるため、規模の似ているまくべつ学園の視察に訪れたということです。



教育長、指導主事、教育委員会職員に、新冠小中学校の両校長も加わった5人の一行は、幕別小学校で中学校教師による乗入授業を熱心に参観、その後町全体とまくべつ学園の取組みについての説明を受け、疑問点を質問して理解を深めました。新冠町の奥村教育長は謝辞の中で、「新冠町の小中一貫教育はまだイベント的。まくべつ学園のような日常的な小中一貫教育を目指していきたい。」と語っておられました。



他管内や他町から関心をもって見られていることは、これまでの取組みへの確信につながります。規模も地域も全く違う5つの学園がそれぞれ工夫しながら小中一貫教育とCSを進めている幕別町は、全道的に見ても稀な町と言えます。どの町もやったことのない事業に挑戦していることを改めて意識しながら、取組みを進めていきたいものです。

第1回中学校登校 7/19 札内東学園

7月19日(火)、今年度1回目の中学校登校が行われ、札内北小49名、白人小39名の児童が札内東中学校へ集まりました。全体で説明を聞いた後、札内北小と白人小の児童を混ぜた3チームに分かれ、英語の体験授業、校舎見学、小小合同レクを順番に行いました。最初は緊張した面持ち



の6年生でしたが、次第に慣れてくると元気なよさを発揮することができました。小小合同レクでは、①ジェスチャーで誕生日順に並ぼう②仲間集め③しっぽ取りゲームを行い、互いに交流を深めることができました。

次回は12月20日に2回目の中学校登校が計画されています。徐々に進んでいる乗り入れ授業も含めて、中学校へのスムーズな橋渡しができるよう今後につなげていきたいです。

「ちゅうるい学園」授業研究 6/29

忠類小学校



6月29日(水)、忠類小学校でちゅうるい学園授業研究が行われました。4年生の道徳科「規則の尊重」の授業で、規則を尊重しながら、モラルやマナーについて学び、日頃の生活に生かそうとする内容でした。「みんなが気持ちよく過ごすために」どのようなことに気をつければ良いのか、子どもたちは真剣に考え、議論していました。想定される状況を実物投影機で絵や写真で示し、考えを深める手立ての1つと

してICTを活用しました。参観した中学校の先生方からは、「指導案が丁寧で参考になった」、「議論を始める前の準備段階での提示が素晴らしかった」など、貴重な意見、感想をいただき、事後研に役立てることができました。ちゅうるい学園でテーマとしている「対話」について、教材や他者との対話のめざす方向性を確認、共有できる良い機会となりました。今後も、実際の子どもた



ちの姿を共有しながら「めざす子ども像」や、「身につけさせたい資質や能力」などを話し合っています。乗入授業の充実等とあわせて、小中一貫教育を推進していきます。

地域と一緒にグリーン作戦！ 7/11 札内東学園

7月11日(月)、3年ぶりとなる札内東学園グリーン作戦が行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、グリーン作戦を始める頃には雨も止み3校それぞれが校区のゴミ拾い活動を行いました。地域学園協働本部を通じて地域の方にもお声



がけしたところ総勢16名(札北7、白人9)のボランティアの方々にお集まり頂き一緒に活動を行うことができました。参加した児童からは、「ゴミを拾って町がキレイになってよかった。」「地域の方とお話して楽しかった。」という感想があげられました。また、ボランティアで参加してくださった方からは「子どもたちから元気をもらった」「またいつでも声をかけて」とおっしゃって頂きました。今後の活動へ繋げていきたいです。

よい張り切って！合同体カテスト開催 7/12 ちゅうるい学園

7月12日(火)、小中合同の体カテスト、シャトルランを行いました。忠類小の5・6年生の児童24名と忠類中の全校生徒30名と一緒に忠類中学校体育館で汗を流しました。

当日のシャトルランの課題は「自分の持久力を知り、これからの生活を考えよう」でした。それぞれ小学校5年生から中学校3年生が混ざった3グルー



プで記録に挑戦しました。6年生が一番回数が多かった児童が73回、中学校3年生が116回でした。小中合同ということでもともと違う雰囲気の中、中学生は小学生に負けられないという気持ちからいつも以上に張り切っていました。最後のまとめでは、「1日1回は走るようにします」や「朝起きたら走るようにします」など生活の中に運動を取り入れていこうという児童・生徒が多かったです。今後も、この小中合同体カテストを継続して行きたいです。

合同あいさつ運動！さつない学園 6/23 (学園だよりより写真転載)

元気のいい挨拶の声が響きます。



古舞小



途別小

札内中



札内南小